

# 平成21年度当初予算

## 総額 165億9,572万8千円

### 市長選挙のため一般会計は骨格予算を編成



平成21年度の一般会計予算は、市長選挙が行われる年であるため骨格予算とし、政策的な経費については、市長選挙後の補正予算に委ねることとしています。

当初予算として計上する経費は、人件費、扶助費、公債費などの義務的な経費や、経常的な物件費、維持補修費などです。

また、政策的な経費であっても、継続事業や事業日程の都合などにより、当初予算に計上しなければ市民サービスに影響を及ぼすと認められる経費、地域の景気対策を推進するために必要と認められる経費などは、計上しています。

なお、特別会計、企業会計については、それぞれの設置目的に従い編成しています。

#### 平成21年度 鳥羽市 予算

会計区分		予算額
一般会計		89億5,600万円
特別会計	国民健康保険事業	31億3,300万円
	介護保険事業	17億3,000万円
	定期航路事業	5億4,350万円
	特定環境保全公共下水道事業	1億5,570万円
	福祉資金貸付事業	120万円
	住宅新築資金等貸付事業	83万円
	老人保健医療	260万円
	後期高齢者医療	4億570万円
	小計	59億7,253万円
企業会計	水道事業	16億6,719万8千円
合計		165億9,572万8千円

#### 一般会計予算の概要

歳入予算では、入湯税の増収、地方交付税の特別枠として地域雇用創出推進費の増額などが期待できるものの、急激な経済不況による市民税の減収や評価替えによる固定資産税の減収などが見込まれます。また、国や県からの補助金・負担金は、引き続き財源確保が大変厳しくなっています。

歳出予算では、前年度比10.3%、10億2,400万円の減額となつていきます。人件費 職員数の削減などにより、前年度比5.2%、1億4,362万2千円の減額。扶助費 障害者自立支援事業費や児童扶養手当、生活保護費支給に伴う経費の増額などにより、前年比2.5%、2,037万7千円の増額。公債費 償還額の減少により前年比5.4%、6,631万3千円の減額。

# 当初予算に計上した主な事業

## 主な継続事業

### ●漁港整備事業

各漁港施設の整備計画に基づき、相違漁港と和具(答志)漁港の整備を行います。また、桃取地区の漁港関連道路や神島漁港の整備も進めます。

### ●地方道路交付金事業

堅神町の赤坂伊勢路線西ノ辻橋の架け替えを行い、利用者である地域住民の利便性の向上や鳥羽小学校の児童の安全を図ります。

### ●地域住宅交付金事業

老朽化した市営住宅の改修や解体を行い、住環境の改善と住宅の質の向上を図ります。

### ●まちづくり交付金事業

固有の歴史や文化を利用しながら個性的で魅力あるまちづくりを進めるため、市道大山祇神社線の道路修景工事や相橋ポケットパークの整備工事などを実施し、定住人口の促進に加え、集客交流人口の増加を図ります。



## そのほかの事業

### 幸せとふれあいを求めて

**保健予防** 誰もが健康で活力ある生活を送ることができるよう、各種健康教室の開催、各種予防接種やがん検診などの健康診査を実施します。また、子育て支援の一環として母子検診の公費負担分の増額、不妊に悩む夫婦への治療費の助成を行います。

**医療体制** 休日・夜間の応急診療や無医地区住民の医療の確保をするとともに、各診療所に医療機器を導入し、初期医療の充実を図ります。

**高齢者福祉** 高齢者が寝たきりなど要介護状態に陥ることを予防し、自立した生活を送れるように地域の実情に応じたサービスを行う介護予防・地域支え合い事業や生きがいづくりの支援などを行います。

**障害者福祉** 障がいを抱えているかたが、自立した日常生活や社会生活を送れるように支援し、障害福祉サービスの充実を図ります。

**児童福祉** 保護者の子育てと

就労を支援するとともに、保育所および放課後児童クラブにAED(自動体外式除細動器)を設置するほか、遊具の点検を行うことでより安心な保育環境を確保します。



### 潤いと安心を求めて

**ごみ処理対策** リサイクルパークにおいて生ごみの堆肥化などを進めるとともに、廃棄物の不法投棄を未然に防止するため環境パトロールを行うなど資源リサイクル事業を進めます。

**消防・防災** 地域の災害を最小限にするため、防災意識の啓発と防災資機材の整備を行い、防災体制の充実に努めるとともに、防災行政無線の屋外拡声子局蓄電池の取り替えを行います。また、高齢者や

転倒防止器具の取り付けを支

援します。

**快適と魅力を求めて**

**公共交通** 交通弱者の移動手段として大きな役割を担っている市内自主運行バスとテスト運行バスを、引き続き県の補助制度などを活用し、生活路線として存続させます。また、定期航路事業では、離島間を結ぶ新たな航路の実証運航を行い、島民や観光客の利便性を図ります。

**港湾** 国際観光港としての機能整備を図るため、県が施行している鳥羽マリンタウン21事業の整備を進めます。

**情報化** ケーブルテレビ網を活用し、行政情報や市議会本会議の録画放送などを音声と画像により、広く市民に提供します。

**豊かな心と創造性を求めて**

**文化の振興** 離島や相差・石鏡地区などで古くから営まれてきた海女の文化を後世に伝え残していくための啓発活動を支援します。

**義務教育** 小中学校の特別支援学級に介助員を配置し、一人ひとりの障がいの種別や程度に応じた、自立へのきめ細かい支援を行います。

**生涯学習** 市民の生きがいづ

くりや交流に役立てられるような生涯スポーツ活動を推進し、地域のこどもから高齢者まで誰もが参加できるように支援します。

### 活力と飛躍を求めて

**農林業** 有害鳥獣駆除用電気柵の設置を支援するほか、引き続き岩倉町地内の県営ふるさと農道緊急整備を進めます。

**水産業** 養殖漁業者への支援や種苗放流など水産振興の充実を図ります。また、整備計画に基づき漁港や関連施設の整備を進めます。

**商工業** 中小企業経営に必要な運転・設備資金の円滑化を図るため、貸し付け条件を見直し、融資が受けやすい体制作りを行うとともに、貸付金の増額を行います。

**観光業** 本市の美しい自然や恵まれた食材・観光資源などを宣伝するため、観光パンフレットなどを作成するとともに、各種観光団体・協議会と協力して、観光客の誘致活動を進めます。

**雇用対策** 緊急雇用対策として、職を失った非正規労働者などを対象に松くい虫の被害にあつた木の伐倒業務や清掃、歴史資料の整理などに従事する臨時職員を雇用します。